

8月行事予定と内容

2日(水)健康のお話

*熱中症予防に関するお話で、夏の健康な過ごし方を学びます。

2日(水)安全のお話

*プールの楽しみ方について再度子ども達と確認します。

9日(水)おはなし会(2・3歳児)

*読みかたりグループ「つくしんぼ」のスタッフが来園し、子ども達に、お話の世界を届けてくれます。

10日(木)交通安全教室

*簡単な標識を覚えたり、台風の日のお話について学びます。交通量が増えるお盆休みに前に道路の歩き方についてお話があります。

18日(金)食育教室

*おいしい食べ物のエプロンシアターを通して、子ども達の食欲アップを図ります。

23日(水)おはなし会(4・5歳児)

*読みかたりグループ「つくしんぼ」のスタッフが来園し、子ども達に、お話の世界を届けてくれます。

28日(月)消火・避難訓練

*暴風雨、台風による洪水等の避難方法を学びます。また、Jアラートの音を聞きます。

29日(火)園長先生のお話「今日は何の日？」

*「焼肉の日」について保育教材を使いながら子ども達の興味や関心を広げていけるようなお話で楽しんでもらいます。

30日(水)誕生会

*夏真っ盛りに誕生した、8月生まれ誕生者をお祝いします。

31日(木)夏まつりごっこ

*ひまわり組さんが中心となって準備した出店屋さんで、夏まつりごっこを楽しみます。

☆ダニエル先生による英語教室(毎週木曜日)

☆9月8日(金)親子遠足

生命(いのち)の安全教育

プール開き 7月7日(金)

「水着で隠れる部分」は自分だけの大切なところ。相手の大切なところを見たり、触ったりしてはいけないこと。いやな触れ方をした場合の対応等についてお話しました。今後も、プール等の生活の中の場面を捉えて、生命の安全教育をしていきたいと思っています。ご家庭においても小さいうちから少しずつ意識付けができるといいですね。



オープニングセレモニーで園長先生と年長さんの代表4名がテープカット



好きな色の水ヨーヨーめがけてダイブ!!



「ボク、これ!」



おひさま

なるせ保育園
R5. 7.31(月)



新しいお友達紹介!

一緒に楽しくあそびましょう!

高橋 愛令和 さん(3歳児・ゆり組)

短冊に願いを込めて!

七夕まつり 7月7日(金)

お家の方々から短冊作りにご協力頂きありがとうございました。昨年は、世界平和を願う短冊が多く見受けられましたが、今年のご自身の体調についてやお子さんの健やかな成長を願う願い事が多かったようです。短冊に込められた皆さんの願いが1日も早く叶うように願っております。



正しい道路の歩き方、横断の仕方

警察官による交通安全指導7月18日(火)

佐々木駐在所長より、道路の正しい歩き方や横断歩道の渡り方のお話を聞き、横断歩道のシートの上を二人一組で渡ってみました。手を上げて車に「止まってください」のサインを送り、左右の確認をしてから、少々緊張しながらも上手に渡る事が出来ていました。



ジュースに入っている砂糖はどれくらい?

食育教室 7月19日(水)

砂糖の取り過ぎは心の状態にも悪影響を与えるので、取り過ぎには注意が必要です。子どもはまだ自分で健康に良い食品を選ぶことはできません。大人が塩分・糖分・刺激物のないものを選んで与えていきたいものです。



おねがい・おしらせ

*先月、お手紙やメール等でもお伝えしましたが、送迎時玄関のロックをし忘れた事により子どもが駐車場に飛び出す危険な事案がありました。送迎時の出入りの際は、鍵を解除したらすぐにロックすることを意識して、みんなで子ども達の安全を確保していきたいと思っています。どうか皆様のご理解とご協力をよろしくお願いたします。また、役場前の駐在所の建て替え工事に伴い今後大型車両の往来が多くなりますので、十分に気を付けてください。駐車場内はお子さんと手をつなぐ、難しい時はそばを歩かせる、衣服の一部を掴ませるなどのご配慮をどうかお願いいたします。

*通園バスでの置き去りによる痛ましい事故が他県で起きている事を受け、本園の通園バスに置き去り防止安全装置が設置され、稼働しております。早速、職員で操作方法を確認したり、安全管理マニュアルの見直しをしたりして、安全に対する意識を高めました。今後も、かけがえのない大切な命をしっかり守ってまいります。

児童館と合同で...

避難訓練 7月25日(火)

消防署より3名の消防士が来園し、児童館と合同で火災による子ども達の避難の様子や、職員の通報訓練を見て頂きました。その後、これから楽しむ機会が増える花火についてのお話も聞き「大人と一緒に楽しむ」「水バケツを用意する」などの約束をしました。



子育てワンポイントアドバイス

「叱る」と「怒る」の違い

「叱る」…相手を思いやり、正しいことを教示すること
「怒る」…感情をあらわにし、イラ立ちをぶつけること
「怒る」ことの弊害

*トゲのある否定語が、子どもの自己肯定感を低下させてしまいます。

*親からその感情的な対処法を学んでしまいます。「そうか、困ったときはパパとママみたいに怒鳴ればいいんだ!」「そうか困ったときはパパとママみたいに叫ばいいんだ」と学習してしまいます。怒って押さえつけるよりも正しく叱って諭す方法で子どもを伸ばしていけるといいですね。

